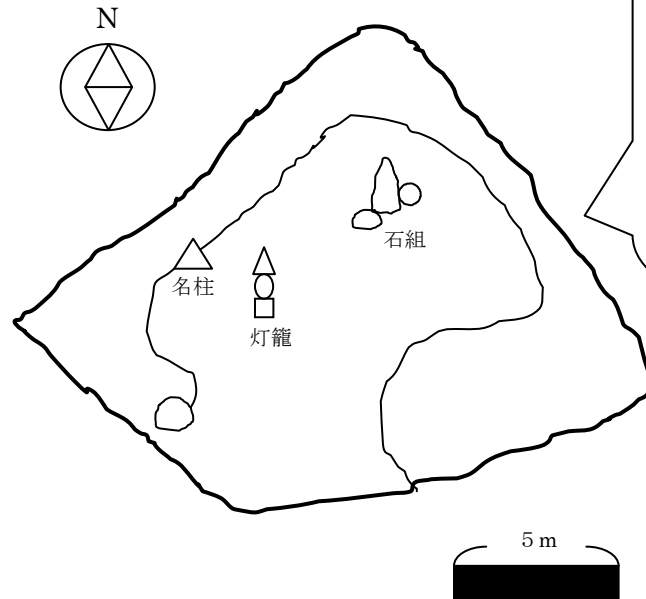


島根県の森

出雲・石見・隠岐の三国から成り立つ島根県。県木のクロマツやサクラ・ツツジを配植し、山陰地方の郷土の風景を表現しています。また、石組や出雲石灯籠がアクセントになっています。



出雲石灯籠(来待石きまちいし)

灯籠作りの起源は古く、奈良・平安時代といわれています。宍道町で採れる来待石を使用しており、苔が付きやすく庭園に良く馴染むことから、石の美術品として人気があります。



県の木 クロマツ(マツ科)

県内に広く分布し、木材・防風林のみならず、景勝地や庭園樹としても、古くから県民に親しまれています。天然記念物の「関の五本松」をはじめ、出雲平野の「築地松」や「松江城の老松」など、旅情をかきたてる魅力の一つになっています

